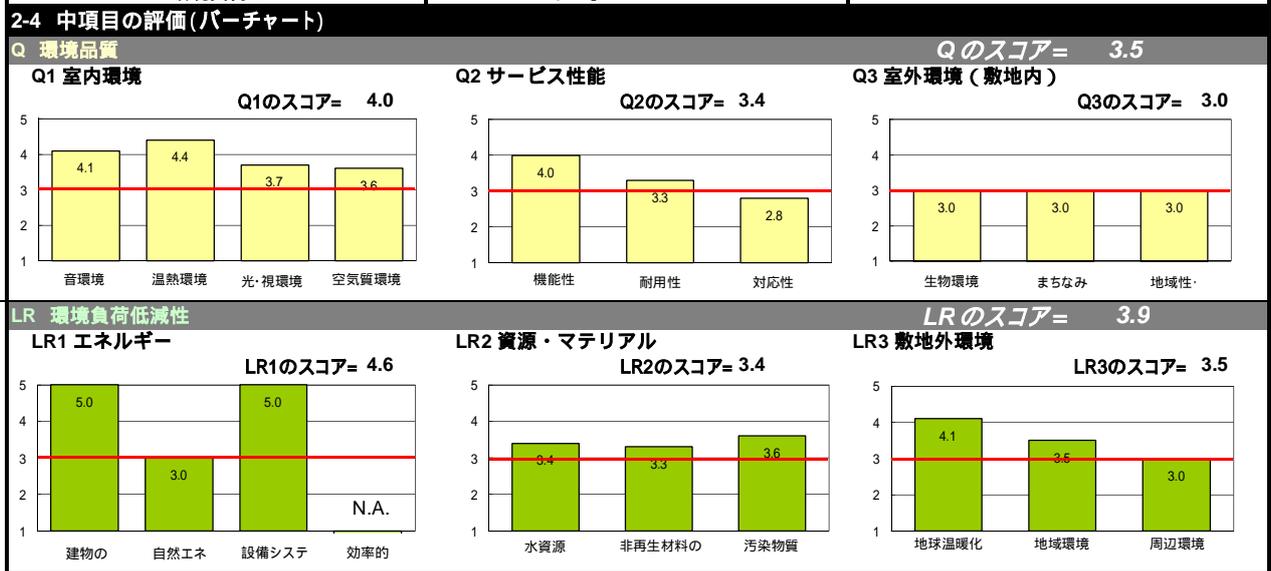
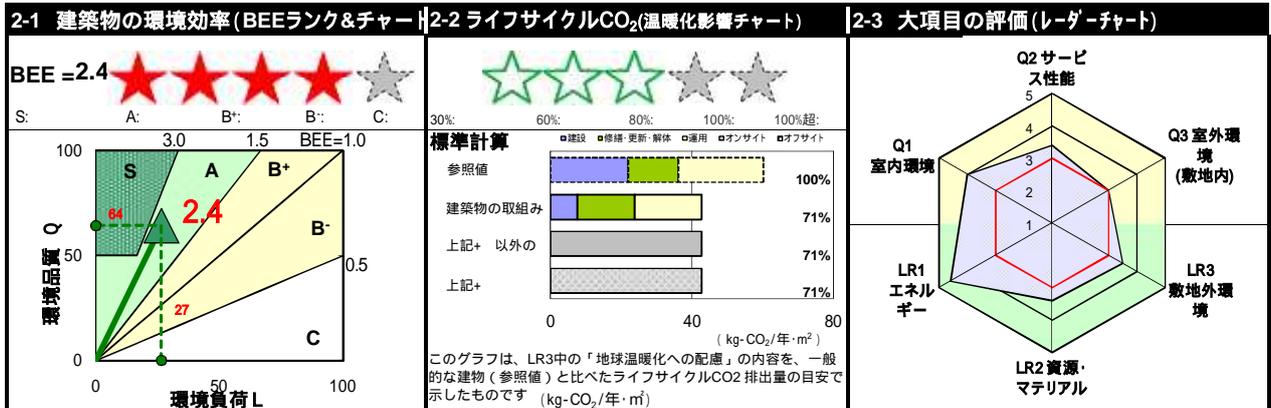


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ茅ヶ崎中海岸	階数	地上 4F
建設地	茅ヶ崎市中海岸1丁目10285-1外1筆	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	157 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2013年7月16日
敷地面積	1,798 m ²	作成者	(株)佐藤清建築設計事務所
建築面積	1,027 m ²	確認日	2013年7月18日
延床面積	3,443 m ²	確認者	(株)佐藤清建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
住民が安心・安全に生活することができ、地球環境に優しい住まいとなるよう配慮した。		
Q1 室内環境 断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に配慮している。 遮音性能の優れた建材を使用し、住戸のプライバシーに配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料で、良い状態で長期間使用できる環境を提供している。最新の情報通信設備を導入し利便性を高めている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。まちなみや景観に配慮している。
LR1 エネルギー 建物の熱負荷を十分に抑制している。設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 水資源の保護を積極的に採用するように努めている。有害物質の少ない材料を使用するよう配慮している。解体時にリサイクルを促進する対策に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境 地球温暖化の原因となる運用エネルギーの削減に取り組んでいる。また、敷地外のヒートアイランド現象の緩和に寄与している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される